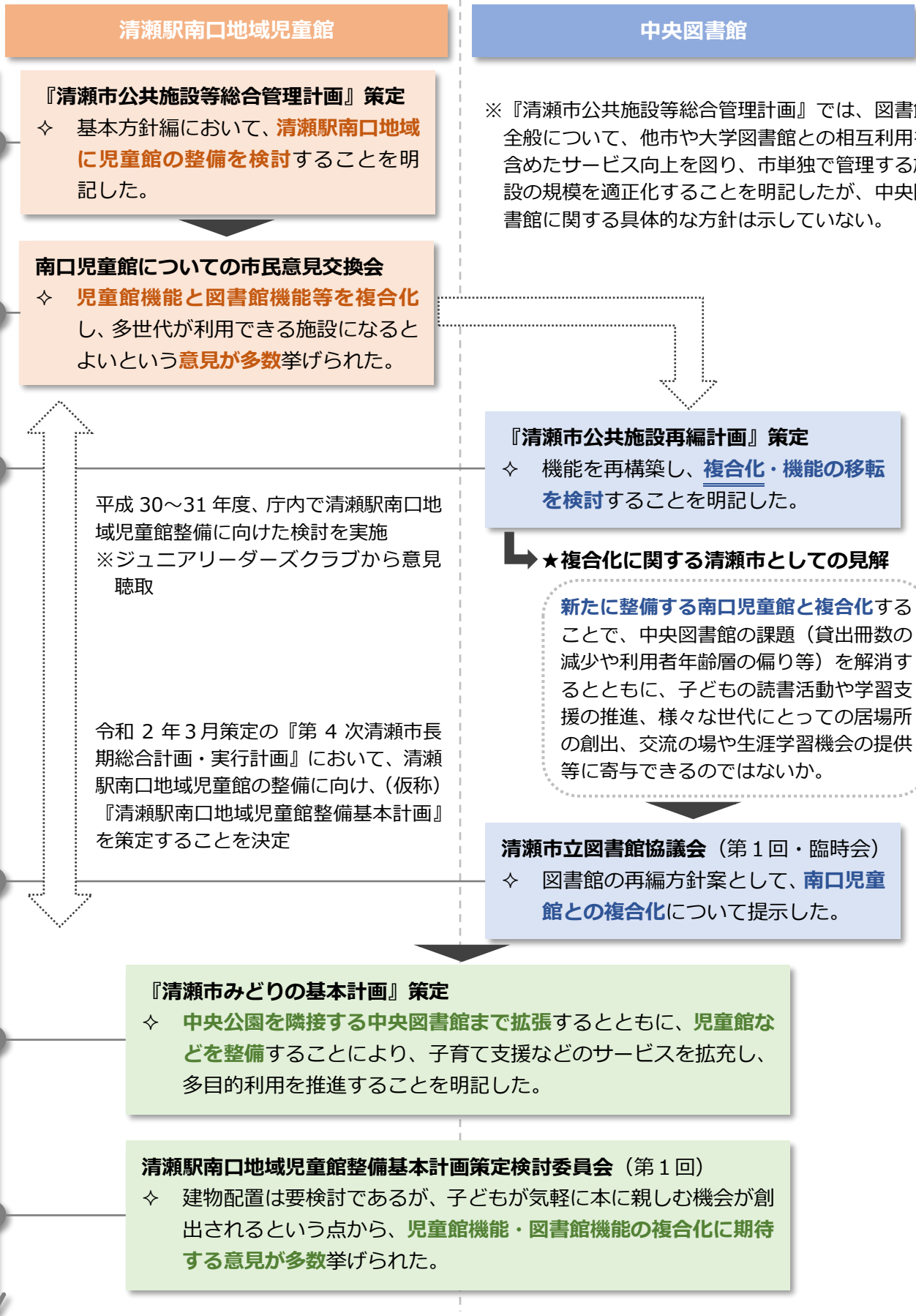


清瀬駅南口地域児童館・中央図書館の施設のあり方に関する議論の経緯と施設の複合化のメリット

1. 清瀬駅南口地域児童館・中央図書館の施設のあり方に関する議論の経緯



2. 施設の複合化のメリット

① 魅力的な拠点の創出

- ・複数の施設を一体で設計することにより、魅力的な空間が創出できる。

例) 武蔵野プレイス【東京都武蔵野市】：機能別にゾーニングして配置していくという通常的手法ではなく、小分けされたスペース「ルーム」を全層にわたって連結させ組み合わせていくという独自の手法により設計されている。

- ・単独の施設では提供し得ない または 提供することが難しい新たな事業等を展開できるなど、市民サービスが向上する。

例) なかまちテラス【東京都小平市】：図書館・公民館協働のイベント（「なかまちテラスまつり」等）を開催しているほか、公民館の講座室の空き時間を学習室として利用可能にする、図書館職員が公民館の受付を行う または 公民館職員が貸出本の返却処理を行うなど、効率的な運営に取り組んでいる。

例) 文化創造拠点シリウス【神奈川県大和市】：施設のカフェで購入したコーヒー等を飲みながら読書ができるなど、施設内のどこでも本が読める環境となっている。また、施設全体の運営に指定管理者制度を導入し、開館日や開館時間の拡大に取り組んでいる。

② にぎわいの創出

- ・利用者数（年間来館者数や図書の貸出利用者数等）の増加が期待される。

例) Mallmall（まるまる）【宮崎県都城市】：図書館の来館者数 17 万人／年⇒9 ヶ月で 100 万人

例) なかまちテラス【東京都小平市】：図書館は、靴を脱いでくつろげるスペースや椅子に座って休めるスペースを整備したことで、以前は少なかった子育て世代が目立つようになった。また、公民館は、学習室を完備したことで、講座やサークル活動に利用する子育て世代や、試験勉強に利用する中高生が増加した。

- ・子ども（0～18 歳）が利用する児童館と、図書館や公園（テニスコート・ゲートボールができる場を含む）が融合することで、子どもと親、高齢者が日常的に交流するにぎわいの場が生まれ、多世代交流の機会が創出できる。

例) 多摩平の森ふれあい館【東京都日野市】：指定管理者が主催する定期的なイベント等を介して、施設を利用する団体の横のつながりが生まれ、地域の様々な年代の人々が交流できる施設となっている。

- ・地域活動の拠点となり、地域コミュニティの形成に寄与する。

③ 延床面積の削減や運用・保全コストの効率化

- ・単体の建物として整備・運営していたそれぞれの機能を 1 つの建物に集約することで、廊下や機械室等を共用することができ、公共施設の延床面積の削減を図ることができる。また、運用・保全コスト（光熱水コストや修繕コスト）も同様に効率化を図ることができる。

(参考) 事例

施設名	(1) 多摩平の森ふれあい館		
基本情報	・複数の施設からなる複合施設		
所在地	東京都日野市多摩平 2-9 (JR 中央線 豊田駅より徒歩 7分)		
オープン	平成 16 年 4 月		
開館時間	各施設により業務時間・休館日が異なる		
図書館	平日 10:00~19:00、土曜日・日曜日・祝日 10:00~17:00 ※休館日:月曜日(祝日の場合は開館)・年末年始		
児童館	9:30~19:00 ※休館日:月曜日・祝日(月曜日が祝日の場合は翌日も休館)・年末年始		
子ども	子育てひろば室	10:00~17:00	※休館日:月曜日・祝日・年末年始
家庭支援	一時保育室	8:30~17:00 (超過保育あり)	
センター	トワイライトステイ	18:00~22:00	
ファミサポ	9:00~17:00 ※休館日:土曜日・日曜日・祝日・年末年始		
交流センター	9:00~21:30 ※休館日:年末年始ほか		
男女平等	8:30~17:15 (集会室は 9:00~21:30)		
推進センター	※休館日:土曜日・日曜日・祝日・年末年始		
面積	敷地面積: -m ² 、延床面積 2,740m ²		
階数	地上 3 階		
3 階	たまだいら児童館ふれっしゅ、多摩平交流センター (集会室、調理室)		
2 階	ファミリー・サポート・センター、一時・トワイライト保育室、地域子ども家庭支援センター多摩平はぴはぴ、多摩平交流センター (集会室)、男女平等推進センターふらっと (男女平等課)		
1 階	総合受付、多摩平図書館 (蔵書数 122,000 冊)		
構造	S 造、RC 造		
経緯・目的	・多摩平団地建替地区内に計画		
導入機能	図書館機能、児童館機能、子育て支援機能、市民活動支援機能		
管理・運営			
児童館	・管理・運営に指定管理者制度を導入 (社会福祉法人雲柱社)		
子ども家庭支援センター	・委託		
ファミサポ	・委託		
交流センター	・6つの集会室と調理室の貸出に指定管理者制度を導入 (NPO 法人市民サポートセンター日野) ・カフェの運営やイベントの企画等、多摩平地区のコミュニティ形成の拠点となるような独自の自主事業を企画		
出典	日野市 HP		

施設名	(2) なかまちテラス
基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の仲町図書館（3階建て）と、近くに位置した仲町公民館の複合施設 ・基本コンセプトは「人と情報の出会いの場」 ・妹島和世設計
所在地	東京都小平市仲町 145 （西武新宿線 小平駅・西武多摩湖線 青梅街道駅より徒歩 10 分）
オープン	平成 27 年 3 月
開館時間	各施設により業務時間が異なる ※休館日（共通）：第 3 木曜日・年末年始・特別整理期間
図書館	9：00～17：00（祝日でない火曜日・水曜日は 9：00～20：00） ※休館日：金曜日
公民館	9：00～22：00
カフェ	9：00～17：00 ※休業日：金曜日（図書館に合わせ、臨時休業・臨時営業）
面積	敷地面積：993m ² 、延床面積 1,454m ²
階数	地上 3 階・地下 1 階 ※地上 1 階のみ分棟
3 階	雑誌コーナー、読書ラウンジ、テラス
2 階	幼児コーナー、ティーンズコーナー、読書ラウンジ、講座室（空き時間は読書室としての利用が可能）
1 階	受付、新聞コーナー、学習室（2 部屋：1 部屋はキッチン付き、1 部屋は電気炉付き）、CAZE CAFÉ なかまち
B1 階	閉架書庫、おはなし室（本の読み聞かせ）兼保育室、学習室（1 部屋）、和室、防音ホール
備考	蔵書数約 7 万冊（うち閉架書庫に約 4 万冊）、読書スペース 40 席（椅子のみ 18 席）、自動貸出機や貸出口ツカー（図書館閉館時でも予約本の受け取りが可能）あり
構造	S 造
経緯・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の公民館・図書館機能を超えて、地域の学びとつながりづくりの拠点とすることで、生涯学習の振興や地域の活性化を推進 ・だれもが気軽に訪れ、親しみやすい施設を整備
導入機能	図書館機能、公民館機能
管理・運営	
図書館・公民館	・直営
カフェ	・委託（社会福祉法人「ときわ会」）
出典	小平市 HP

施設名	(3) ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス
基本情報	・図書館機能をはじめとして「生涯学習支援」「市民活動支援」「青少年活動支援」等の機能を併せ持った複合機能施設
所在地	東京都武蔵野市境南町 2-3-18 (JR 中央線・西武多摩川線 武蔵境駅より徒歩 1 分)
オープン	平成 23 年 7 月
開館時間	9:30~22:00 ※休館日:水曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)
面積	敷地面積:2,166.20m ² 、延床面積 9,809.76m ² ※うち駐車場等:938.71m ²
階数	地上 4 階・地下 3 階
4 階	・ワークテラス:フォーラム、ワーキングデスク
3 階	・ワークラウンジ: 市民活動カウンター(施設貸出窓口)、ワークラウンジ、市民活動情報コーナー、スタディーコーナー、スペース、プリント工房、生涯学習・自由大学事務局
2 階	・コミュニケーションライブラリー: こどもライブラリー(児童図書約 43,000 冊、児童向け雑誌約 20 タイトル)、おはなしのへや(託児コーナー)、テーマライブラリー(日常生活に役立つ生活関連図書約 30,000 冊)
1 階	・パークラウンジ: 総合案内、マガジンラウンジ(雑誌約 600 タイトル、新聞約 30 紙)、カフェ、ギャラリー、予約資料コーナー、対面朗読室 ・境南ふれあい広場公園
B1 階	・メインライブラリー: メインライブラリー(一般書約 89,000 冊、雑誌バックナンバー 200 タイトル)、レファレンスカウンター、サーチバー、録音室
B2 階	・ティーンズスタジオ: アート・ティーンズライブラリー(青少年向け図書・雑誌+芸術系の図書約 18,000 冊)、スタジオラウンジ、オープンスタジオ、サウンドスタジオ、パフォーマンススタジオ、クラフトスタジオ
B3 階	・駐車場
構造	SRC 造、RC 造
経緯・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「武蔵境のまちづくりの推進」の一環として、農水省食糧倉庫跡地に西部図書館を移転拡充 ・民有地を含めた土地取得の完了後、用地の約半分を都市計画公園として決定し、緑豊かな都市環境の創出を図るべく建物と公園を一体的に整備 ・複数の機能を積極的に融合させ、人とひとが出会い、それぞれが持っている情報(知識や経験)を共有・交換しながら、知的な創造や交流を生み出し、<u>地域社会(まち)の活性化を深められるような活動を支援する公共施設を整備</u>
導入機能	図書館機能、生涯学習支援機能、市民活動支援機能、青少年活動支援機能
図書館	・さまざまなライフステージに対応した滞在型図書館をめざす
生涯学習支援	・市民や地域の教育機関・企業・施設と連携して、「プレイスならではの」多様な生涯学習事業を実施する
市民活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・現在活動している個人や団体の活動を支援するほか、これから活動をはじめようとする人に対する支援を行う ・団体間、団体と地域間等のコーディネーターの役割を果たし、開かれたネットワークを形成することを支援する
青少年活動支援	・青少年の情報交換の場、市民活動、情報・文化活動、社会参加への足がかりをつくる
管理・運営	・市民活動支援、青少年活動支援、図書館業務、生涯学習事業等に指定管理者制度を導入(公益財団法人 武蔵野生涯学習振興事業団)
出典	日野市 HP

施設名	(4) 大和市文化創造拠点シリウス
基本情報	・複数の機能が融合した新しいタイプの公共施設
所在地	神奈川県大和市大和南 1-8-1 (小田急江ノ島線・相鉄本線 大和駅より徒歩 3 分)
オープン	平成 28 年 11 月
開館時間	いずれも休館日は年末年始
芸術文化ホール	9:00~22:00
生涯学習センター	9:00~21:30
図書館	9:00~21:00 (日曜日・祝日は 9:00~20:00)
こども図書館 屋内こども広場	9:00~19:00
市民交流ラウンジ	9:00~21:00
駐車場・駐輪場	8:15~22:30
面積	敷地面積: 9,378.19m ² 、延床面積: 25,256.18m ²
階数	地上 6 階・地下 1 階
6 階	・仲間と集い学ぶ生涯学習センター： (市民交流スペースぶらっと大和、講習室、会議室、和室、調理実習室・会議室、文化創造室・会議室、印刷室、大和市役所図書・学び交流課)
5 階	・調べて学ぶ図書館 (蔵書数 57 万冊 (※含む))： (レファレンスカウンター、情報検索コーナー、地域資料コーナー、読書室、点字図書室、対面朗読室)
4 階	・くつろぎながら本に親しむ健康都市図書館 [※] ： (健康コーナー、健康テラス、健康度見える化コーナー、メインカウンター、予約本コーナー、ティーンズコーナー、まんが・新聞・雑誌、シアターブース、ロボットコーナー、読書テラス)
3 階	・思い切り遊んで学ぶ大和こどもの国： (げんきっこ広場、ちびっこ広場、保育室、相談室、多目的室、赤ちゃんの駅、こども図書館、こども読書室、おはなしのへや、こどもシアターブース、スタジオ、マルチスペース)
2 階	・楽しく語り集う市民交流のフロア： (市民交流ラウンジ、図書館、大和市役所大和連絡所、大和市イベント観光協会、コインロッカー)
1 階	・感動が生まれる感性と創造の場： (メインホール、サブホール、ギャラリー、総合案内、図書館、授乳室、スターバックス、放送スタジオ)
B1 階	・駐車場・駐輪場
構造	SRC 造、S 造
経緯・目的	・再開発事業と新しい芸術文化ホールの建設という市にとって重要な意味を持つ両事業を組み合わせ一体的に取り組む案が、市から再開発組合に提案 ・大和の文化の創造・発信に、より一層力を入れるために設置
導入機能	芸術文化活動支援機能、図書館機能、生涯学習支援機能、子育て支援機能
芸術文化活動支援	・プロのアーティストの公演や展示、イベント開催などにより、芸術・文化のある暮らしを提供する
図書館	・さまざまなジャンルから幅広い蔵書を揃え、市民と本とをつなぐ ・健康をテーマにした健康都市図書館として、さまざまなサービスを提供する
生涯学習支援	・団体・サークルなどで活動をされている方々の活動の場を提供する ・学びの「きっかけ」の場を提供する
子育て支援	・親子でいつでも安心して過ごせる広場を提供する
管理・運営	・運営に指定管理者制度を導入 (やまとみらい (株式会社図書館流通センター、サントリーパブリシティサービス株式会社、株式会社小学館集英社プロダクション、株式会社明日香、株式会社ポーネルンド、横浜ビルシステム株式会社))
出典	大和市 HP、シリウス HP

施設名	(5) Mallmall (まるまる)	
基本情報	・官民連携による複合施設（8施設）	
所在地	宮崎県都城市中町 16-15 周辺（JR 日豊本線 西都城駅より徒歩 12 分）	
オープン	平成 30 年 4 月	
開館時間	各施設により業務時間・休館日が異なる ※中核施設付帯駐車場あり	
図書館	9：00～21：00 ※施設の保守点検、図書整理等に伴い臨時休館	
未来創造 ステーション	9：00～22：00（貸出可能時間）	
広場	9：00～21：00（貸出可能時間）	
交流センター	9：00～22：00（貸出可能時間）	
保健センター	月曜日・火曜日・水曜日・金曜日・第 2 日曜日 8：30～17：15 木曜日 8：30～19：00 ※休館日：土曜日、第 2 日曜日以外の日曜日、祝日、年末年始	
子育て世代 活動支援 センター (ふれびか)	子育て支援センター	9：00～17：00
	おひさまテラス	9：00～18：00
	ブレイルーム	9：00～18：00
	一時預かり	9：00～20：00
経緯・目的	<ul style="list-style-type: none"> 空洞化の進む中心市街地の再生に向け、各種制度を活用し、中核施設として魅力ある図書館等を整備 旧図書館では年間約 17 万人だった来館者数が、運営開始 9 か月目に 100 万人を達成 	
導入機能	図書館機能、交流機能、にぎわい創出機能、保健機能、子育て支援機能	
図書館	・旧図書館より規模や機能を拡充（施設面積約 3 倍、開架収容能力は 2 倍の約 20 万冊）し、カフェも併設した市民の新しい知的活動拠点	
交流	・さまざまな世代の市民がまちなかで交流活動を行う拠点	
にぎわい創出	・多彩なイベントを展開する、まちなかの新たなにぎわい創出の拠点	
保健	・子育て世代の総合支援の拠点	
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代がまちなかに集い、交流する新たな拠点 広々とした施設内に設置された大型遊具や砂場などの遊び場 	
管理・運営		
図書館	・管理運営に指定管理者制度を導入（MAL コンソーシアム（株式会社マナビノタネ（代表団体）と株式会社ヴィアックスの 2 社による事業体））	
ふれびか	・子育て支援拠点の運営に指定管理者を導入（社会福祉法人 善隣館福祉会）	
その他	・未来創造ステーション、まちなか広場、まちなか交流センター、中核施設付帯駐車場、中央バス待合所の管理に指定管理者制度を導入（都城まちづくり株式会社）	
出典	Mallmall (まるまる) HP、都城まちづくり株式会社 HP	